

函館工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	近代文学講読	
科目基礎情報							
科目番号	0350		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	物質環境工学科		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	1			
教科書/教材	「羅生門 蜘蛛の糸 杜子春 外十八篇」 芥川龍之介 (文春文庫) /プリント 朗読CD VTR 国語辞典						
担当教員	松代 周平						
到達目標							
1.様々な視点から作品を読み解き、読解の幅を広げることができるようになる。 2.作品の技巧的な面にも目を向け、作品をより深く鑑賞することができるようになる。 3.作者の問題意識を把握し、自らもその問題について考えることができるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	読解の幅を広げるために、新たな解釈の可能性に挑戦する意欲を持つことができる。		作品解釈の多様な可能性を理解し、別の視点からも作品を把握することができる。		作品を一つの視点からしか把握できず、多様な解釈の可能性あることを理解できない。		
評価項目2	作品にどんな技巧が用いられているか、自ら考えつつ読み進めていくことができる。		作品に用いられている技巧を理解し、読みを深めることができる。		作品に用いられている技巧を理解できず、読みを深めることができない。		
評価項目3	作者の問題意識を把握するため、進んで他の作品を読む意欲を持つことができる。		作者の問題意識を理解し、それについて自らも考えることができるようになる。		作者の問題意識を理解できず、それについて考える意欲も持つことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 (D-1) 函館高専教育目標 D							
教育方法等							
概要	芥川龍之介の代表的な短編小説を様々な角度から掘り下げて読み解くことによって、芥川文学の特徴を把握し、文学世界の奥行きや深さとその醍醐味を体験してみよう。						
授業の進め方・方法	毎回、課題が出るので、丁寧に仕上げ、期限厳守で提出すること、この提出課題が20パーセント分の評価に該当する。 この授業は、知識を得ることが第一の目的ではない。一つの作品に対して様々な観点からの読みがあるということを理解し、自分の切り口を見つけ出そうと努めることが第一に求められる。自らの視点を獲得するためには、日頃から文学作品に親しみ、そこに潜むテーマと向かい合っ、心の中で作者や登場人物と対話する姿勢が必要で、そうした行為がいわば事前の準備段階といえる。						
注意点	なお、授業への参加姿勢に問題のある場合には、減点となるので注意すること。 J A B E E 教育到達目標評価：定期試験80% (D-1) , 提出課題20% (D-1)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 芥川龍之介について		到達目標や授業概要・評価について理解することができる。 芥川龍之介の生涯と文学の概略を把握することができる。		
		2週	「蜘蛛の糸」		童話として書かれた作品でも、幅広い読みの可能性と豊かな文学世界があることを理解することができる。		
		3週	「蜘蛛の糸」		童話として書かれた作品でも、幅広い読みの可能性と豊かな文学世界があることを理解することができる。		
		4週	「蜘蛛の糸」		童話として書かれた作品でも、幅広い読みの可能性と豊かな文学世界があることを理解することができる。		
		5週	「羅生門」		主題に関する様々な解釈を理解したうえで、作品成立のモチーフに迫ることができる。		
		6週	「羅生門」		主題に関する様々な解釈を理解したうえで、作品成立のモチーフに迫ることができる。		
		7週	「羅生門」		主題に関する様々な解釈を理解したうえで、作品成立のモチーフに迫ることができる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	答案返却・解答解説		・間違った箇所を理解できる。		
		10週	「地獄変」		語りと描写の巧みさを理解し、芸術と倫理の相克という作者の生涯のテーマを読みとり、自分なりに考えることができるようになる。		
		11週	「地獄変」		語りと描写の巧みさを理解し、芸術と倫理の相克という作者の生涯のテーマを読みとり、自分なりに考えることができるようになる。		
		12週	「地獄変」		語りと描写の巧みさを理解し、芸術と倫理の相克という作者の生涯のテーマを読みとり、自分なりに考えることができるようになる。		
		13週	「藪の中」		巧みな構成と人物設定を理解したうえで、自我に囚われた人間存在について考え、それを文章にまとめることができるようになる。		
		14週	「藪の中」		巧みな構成と人物設定を理解したうえで、自我に囚われた人間存在について考え、それを文章にまとめることができるようになる。		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答解説		・間違った箇所を理解できる。		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題提出	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0